

とっちゃんだより

R2.12.24 No8

文責:校長

コロナ禍で特別な二学期に

感染防止に配慮して学校行事を実施

2020年を振り返ると、一月に国外で新型コロナウイルスが発生し、あつという間に世界各地、日本国内にも広がりました。その影響で三月と四月五月に第一波で臨時休校、七、八月に第二波で部活動中止や外出自粛、そして現在は第三波で年末年始の行動を制限という状況です。考えてみると、ゴールデン・ウィーク、お盆、年末年始と帰省や旅行をするチャンスがごとく新型コロナウイルスに奪われてきた感じでした。

二年生で一月に予定していた関西方面への修学旅行も、時期やコースを変更せざるを得ない事態になりました。そんな中、「新しい生活様式」が徐々に定着しつつあり、学校でも感染防止に配慮して教育活動を進めています。体育大会では、種目を大幅に減らしたものの、応援方法などを工夫することで、達成感を味わうことができました。文化発表会では、感染防止のため合唱練習ができず、合唱コンクールができませんでしたが、その代わりに学年別のダンス発表会を実施し、学級の創意工夫や絆、団結力を高めることができました。生徒たちは、いろいろな制限の中、よく頑張った二学期だったと思います。

鑑賞教室、「二人芝居」観覧

人は「ことば」だけで人を殺せる

八日（火）に鑑賞教室を実施し、ミュージカルを鑑賞しました。宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」をもとに、二人の少年の心の交流と成長にスポットを当てた物語で、生徒たちは、友情について、また本当の幸せとは何かについて深く考える機会になったようです。

一四日（月）には、人権学習の一環で、「君をいじめから守る」というテーマの一人芝居を観覧しました。学校生活で実際に起こりうるいじめを再現し、いじめや差別の構造、その解決への取組など、たいへんわかりやすく、心に深く残る内容でした。その中で、「人はことばだけで人を殺せる。」というセリフを聞いて思い出したことがあります。

今年五月にプロレスラーの木村花さん（当時二二歳）が、出演したテレビ番組がきっかけで、SNSで誹謗中傷を受けるようになり、自殺したとみられる問題がありました。先日そのうちの一人の二〇代男が侮辱容疑で書類送検されました。数回にわたり、木村さんに「性格悪いし、生きてる価値あるのかね」「ねえねえ。いつ死ぬの？」などと投稿していたそうです。木村さんはこれらの心ない投稿に耐えられずに自殺したのではないのでしょうか。

こういったことは決して他人事ではありません。実は校内でも、SNS上で発したことばから人間関係のトラブルに発展した例はいくつかあります。SNS上であっても許されないことは許されないのです。

学校評価アンケートあじがございました

あいさつは改善、登下校マナーが課題

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。おかげさまで学校の課題や生徒の課題が見えてきました。いただいたご意見については、真摯に受け止め、今後の学校運営に生かして参ります。

先日、土々呂駅近くの住民の方から、「中学生が次々にあいさつをしてくる」という電話がありました（部活動のない日の夕刻でした）。たいへんうれしかったです。これが土々呂中のよき伝統になっていくといいなと思います。

一方で、登下校中、狭い道路で広がって歩いている、自転車との並進がある、等の苦情電話がたびたびあり、学校評価アンケートにもいくつか記載がありました。その場に応じた行動ができるようになってもらいたいものです。学校でも指導をしますが、ご家庭でもご指導をお願いします。

冬休み中も自分の命を大切に！

年末年始は、県外からの車が増えると予想されます。普段よりもさらに交通安全に気を付けてください。また、夜間外出や外泊から問題行動につながる事例がありました。親しい間柄であっても外泊等はさせないようにお願いします。今年の冬休みは、いつもより家で過ごす時間が増えると思われるので、進んで家の手伝いもしてほしいと思います。